



公明党 近藤 芳宏 18
災害時に即応できる体制を

問防災の専門家を特別職の長として、防災体制全般について日常的に協議できる体制づくりが必要と考えるが、市の考えは。

答栗原副市長 災害対応は事前の備えが不可欠であり、平常時から庁内で防災体制全般について協議し、いざという時の対応を確認しておくことは重要と考えている。

今回の台風第21号への



やまぶき会 小野澤 康弘 19
基盤整備と雨水対策予算を

問今後の道路、河川や下水道における基盤整備と雨水対策について、財政問題を考えた場合、抜本的にどのような予算編成を考えていくべきか伺う。

答市長 市民の生命、身体および財産を災害から守っていくことが必要であると認識している。

各地で発生している浸水被害を受けて、基盤整備や雨水対策の重要性を



災害対応

対応や災害対策全般について、課題の検証を行い、この結果を基に、どのような協議体制が必要か検討していきたいと考えている。

再認識している。

厳しい財政状況が続く中、さまざまな行政課題への対応が求められているが、今一度川越市にとって必要な施策を見直した上で、安心安全のための基盤整備と雨水対策について、効果的な予算配分に努めていきたいと考えている。

川越市の雨水対策
社会科副読本かわごえ



政晴会 川口 啓介 20
中学校間の価格差是正を

問市立中学校の制服や体操着等、学校指定品に学校間で大きな価格差がある現状は是正すべきと考えるがどうか。

答教育長※ 学校指定品における学校間の価格差は、保護者の負担軽減の視点から検討する必要のある課題と捉えている。

今後は、制服等を保護者が購入するまでの手続きや価格等の状況を把握



中学制服等学校指定品

するとともに、公正取引委員会が公表した報告書の趣旨を踏まえ、学校として配慮すべきことを教育委員会において検討し、学校に周知し、注視していきたいと考えている。



やまぶき会 矢部 節 21
看取り相談の対応について

問人生100年といわれ、人生の最期に際して孤独死の増加が見込まれる。こうした相談が市にあった場合の対応について問う。

答福祉部長 高齢者については、総合相談窓口として地域包括支援センターがある。相談の中には、がん患者の看取りに係る相談などもある。

看取りについて相談が

防災・減災対策特別委員会を設置

本市は、荒川をはじめとする河川に四方を囲まれており、台風や豪雨等によって、これまで地理的・地形的条件から、洪水や内水はん濫がしばしば発生し、大きな被害を受けてきました。また、過日の台風第21号では、一部の地域で内水による大きな被害を受けました。

さらに水害以外にも、これまでに東日本大震災、県内で発生した竜巻による突風被害、大雪による被害などの危険性も含め、多様な災害に対する対策が求められています。

加えて、災害を未然に防ぐとともに、日頃からの備えにより被害を減らすことが極めて重要です。

こうした防災・減災の実現には、市民および事業者が自らの身を自らで守るという自助、地域の住民や事業者が互いに助け合い、守り合うという共助および市、

県、国等が行う公助が連携して、対策に取り組む必要があります。

いつ起きるか分からない災害から多くのいのちを守るためにそれぞれがどのように防災・減災対策に取り組むべきか、調査・研究するために防災・減災対策特別委員会を設置しました。

12月20日に委員会を開催し、正副委員長の互選を行いました。委員の構成は次のとおりです。

- | | | | |
|-----|--------|------|------|
| 委員長 | 小野澤 康弘 | 副委員長 | 桐野 忠 |
| 委員 | 海沼 秀幸 | 委員 | 樋口 直 |
| 委員 | 池浜 あけみ | 委員 | 伊藤 正 |
| 委員 | 吉野 郁恵 | 委員 | 今野 英 |
| 委員 | 山木 綾子 | 委員 | 矢部 節 |